

金星



啓明学院同窓会

Hands and Hearts are trained to serve.



No.15. 2011年7月10日発行

「わたしはここに居ます」

同窓会会長 6 回生 佐藤陽子



金星会の皆さまには、その後いかがお過ごしでしょうか。3月11日に発生した東日本大震災・津波により広範囲な地

域で甚大な被害をもたらしました。東北・関東地方にお住まいの同窓生の皆さまには被害はございませんでしたでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。

さて、わが母校啓明学院は2011年4月で男女共学体制が実施されて10年目を迎えました。学内で見かける男子生徒の姿もごく当たり前のこととして溶け込みすっかり啓明学院の風景となりました。学院の種々の行事に参加させていただくたびに思うことは、根底に流れる建学の精神と伝統はゆるぎなく受け継がれ、歴史の中で育まれてきた啓明スピリットはますます多角的に発揮されてきていることを喜ばしく思うことでもあります。男子生徒の蓄積されたエネルギーの出し方、女子生徒の堅実で綿密なエネルギーの発露、両方が相俟つてすばらしい力となつて啓明学院を支え、方向付けていることを頼もしく感じています。わが同窓会・金星会にもその影響が次第に顕れてくることを願っています。

今年度の高校卒業式には、昨年4月に就任された藤本義和校長が、卒業生一人一人に卒業証書を手渡され、尾崎理事・院長が証書を受け取った生徒と固い握手を交わされるのです。私たちの時と同じく卒業証書は英語で読まれ、名前を呼ばれた生徒は「はい!」と答えて壇上に進みます。大きな元気な声で応える人、つつましい「はい」の人といろいろな

「はい」がありました。「はい」の返事は「それは私です」という意味を含めた応答です。中には「はい」と同時に保護者出席者の前でおどけたパフォーマンスをして皆の気を惹く生徒たちもいました。この時、私は50数年も前に経験したある宣教師の先生の授業を思い出したので、出席簿のABCの順に名前を呼ばれたら、Yesの代わりに、Presentと起立して自分の存在を示すようにと教えられました。プレゼントは「ここにいます。出席している」という状態を表す形容詞ですが、名詞の贈物「プレゼント」も原点は「私はここに居ます」という思いであり、ものではなくて「私を差し出します」という気持ちに繋がっていること、そして神さまがイエスキリストを私たちにプレゼントしてくださったのがクリスマスであり、プレゼントの由来もそこから来ていることを教えられました。

すでに学び舎を出て学生として職業人、家庭人としてそれぞれの場所に存在する私たち同窓生が、「私はここに居ます」と自分自身を差し出して、私たちに与えられている時間と財力と賜物を捧げて最も相応しいところで用いられる者であり続けたいと願いました。このことが啓明の school mottoである「神と人に仕えるために鍛えられる」に通じていくのではないのでしょうか。

同窓会総会が来る9月17日(土)にポートピアホテルで開催されます。啓明女学院1回生から啓明学院6回生の男女の会員の皆様方、どうか一堂に会して啓明学院の現状を共有し、ますます母校への理解を深め、発展を祈り合いたいと願っています。皆さまのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。それでは総会で皆さまとお目にかかりましょう!

感謝

啓明学院前院長 宮田満雄



私は2010年3月末をもって啓明学院院長を退任いたしました。2003年以来7年間、金

星会の皆様にはお世話になり心からお礼申し上げます。特に皆様の母校啓明女学院が新しい教育計画のもとに、その与えられた教育的使命をこれまで以上に発展的に果たすべく大きな改革に踏み出した時期に当たっていましたので、皆様のご理解とご支援は学院にとり大きな励みになったことでした。

に至っている様子をこの7年間、目の当たりにし、その教育的成果の大きさに感謝をもって深い感慨をおぼえました。

育ち行く若き魂にランバス先生一家が抱いておられた強い教育的願いと祈りは、育ち行く者達がキリスト教主義にもとづく知的宗教的教養を身につけるということでした。それは正に少年イエスの成長に倣うということでした。即ち、聖書に記されている「イエスは知恵が増し、背丈も伸び、神と人とに愛された。」ということでした。

1886年、米国南メソジスト監督教会より神戸へ派遣されたランバス宣教師ご一家のお働きで創立された5つの学校が、新しい世紀を迎えるにあたりキリスト教主義にもとづく教育機関としてさらに発展的にその使命を果すべく相互に協力しあうことに同意し、1998年3月に姉妹校協定を結びました。その5校とは聖和大学、関西学院、啓明女学院、広島女学院、パルモア学院でした。当時、啓明の院長は中島貞夫先生、関西学院は私でした。

私が通算40年、関西学院に勤務しましたが、啓明での7年間に一層強くこの教育理念の大切さを感じ、生徒達が明るく健やかに成長する姿を喜びと感謝をもつて見ておりました。それは孫の成長を喜ぶ祖父の眼差しであったかも知れませんが、見えないものに目を注ぐことは人間の真の成長にとって不可欠なことだと思えます。その意味で啓明はじめ仲間の教育機関が一層良い働きをすることを祈ります。

「人の心には多くの計画がある。しかし、ただ主のみ旨だけが堅く立つ」というのは旧約聖書の言葉ですが、本当にそうだと思います。そして啓明の教育もそのみ旨に沿って進められていることを確信しています。

2002年、啓明が関西学院大学継続校としての新しい歩みを始めて以来、今井理事長と尾崎校長の情熱あふれるリーダーシップと英断のもとに教育計画は着々と進められ、良い生徒達が育ち今日

永きにわたる啓明の教育の味わいが卒業生の皆様の人生を豊かにすることを祈ります。

啓明学院!

啓明学院理事長・院長 尾崎 八郎



パルモア女子英学院そして啓明女学院は、いずれの時代にあつても恥じる事のない立派な女子教育を、人間教育を目指してきました。聖書に示されたそれを男女総てに開放しようと啓明学院に改称して10年を経、今中学・高校の全生徒は男女クラスとなり、同根の関西学院大学とは継続教育協定により、全入の推薦権を持つて歩んでいます。

この間にあつて金星会が示された理解と惜しむ事のない御支援を深く感謝しています。母体・母校を滅しては同窓会も生徒会もそして育友会・校友もありません。今井相談役がよく言われる様に、学院はオーナー理事長の学校ではありません。神様に強く動かされたJ・W・ランバス、そしてメアリー・ランバス御夫妻から始まり、順次バトンを受け継いで私達が預かり、次の世代に託してゆく学院です。受け継いだ時より少しでも良くしてバトンを渡したいものです。

良寛の歌に「この宮の森の木したに子供らと あそぶ春日になりにけらしも」

などありますが、今春は皆様と共に心を痛めております、東日本大震災の大災害に見舞われました。現地では私が思いやる事など出来ない程の深い呻吟があることでしよう。啓明学院は例え大海の一滴にすぎないとしても連帯している徴として、金星会・生徒会・育友会と教職員一同から各100万円、合計400万円を最初の一步として、被災地の私立中学高校宛の義捐金として私立中高連を通じて送りました。阪神淡路大震災の時、日私中高連は兵庫県私立中高のために25億円の寄付をしてくださったのです。

啓明学院はあの使徒たちの言行にあるように、『受けるより与える方が幸いである。……わたしはこの手で、わたし自身の生活のためにも、共にいた人々のためにも働いたのです』を行いたい。ノン・クリスチャンの先生が礼拝で祈りました。「生徒と一緒に礼拝できる事を感謝します。この生徒と一緒に私も成長できますように」と。学んで他のために、鍛えて他のために、神様の御心に適う学院として歩んでゆけますように金星会の御支援をお願いいたします。ありがとうございました。

啓明学院は今年

共学化十年目を迎えます

啓明学院中学校・高等学校校長 藤本義和



金星会の皆様におかれましては、益々ご壮健にて、各界において多彩なご活躍をされています。

すことを、心からお慶び申し上げます。このたび、東日本大地震で被害に遭われた地域の皆様に、心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

今年、私たちは共学化してから10年目の節目を迎えます。もちろん女学院時代に築かれた「どんな時でもしっかりと自分の足で立つて歩いていける」という生きた教育は、伝統として脈々と続いていきます。そして中学では人間性を深め、基礎学力を鍛え、自学自習の習慣を育てています。高校では大学・大学院など高等教育の学びを豊かに楽しむために、確かな学力と人間性、知的意欲をはぐくんでいきます。

共学になって最初の卒業生は大学4回生になります。啓明で培ったチャレンジ精神と知的好奇心と人間力を活かして、大学でも存分に活躍しています。教授たちの評価も上々です。

本学院ではこの10年間、教育内容・環境の充実を図るため、前理事長今井鎮雄

先生、前校長尾崎八郎先生のもとで教育環境の整備と教育特色の高揚に努めてまいりました。

2010年度は、パイプオルガンの完成、前島キャンプのレスポスと艇庫の竣工を見ることができました。2011年度には、合宿研修所が開設され、和道教室も完成しました。また念願の自然科学教室の建設にも着手します。

これらにより、教育環境は一層充実し、啓明だからこそできる体験学習や理数教育、国際理解教育をさらに発展させ、鋭い知性と豊かな感性を持ち、社会的役割を自覚し、高い理想に燃え、愛と奉仕の心があふれる平和な世界を実現する、そんな志の高い卒業生を送り出したいと願っています。

生徒は一人ひとり、それぞれ個性があります。持ち味があります。男女の違いもあります。自分がないものを持つているからこそ、その存在は大切です。違うところに尊厳があります。相手の存在を認め、必要とする。そういう見方ができるようになることが大切ではないでしょうか。

教職員一同、本校の使命を自覚し、地域に開かれた学校として信頼され、活力ある学校づくりをすすめてまいりますので、皆様の母校への温かいご指導とご支援をお願い申し上げます。

パイプオルガン完成記念コンサート

J・W・ランバスチャペルにパイプオルガンが設置され、11月27日に完成記念コンサートが行われました。広島女学院大学のオルガニストの玉理照子さんにより、バッハの小フーガ・ト短調、パッサカリア・ハ短調、メンデルスゾーンのスナタ第6番等、10曲が演奏されました。力強く荘厳な音、静かで瞑想的な祈りの音、叙情的な旋律、色々な音質、音量の変化の可能なパイプオルガンでの、すばらしい演奏がチャペル全体に響きわたりました。

整音されます。このパイプオルガンは東京都町田市にあるマナ オルゲルバウの工房によるもので、8月よりチャペルで組立作業を始め、11月に完成されました。外観は窓のアーチをモチーフに設計され、正面に錫85%の金属製パイプが並び、外装には堅牢で木目の美しい会堂のベンチと同じ楯を使用し、ストップ数21個、パイプ総本数1172本の仕様となっています。その姿には感動を覚えるものがあり、年数と共に深みのある音色で演奏され続けられることを願っています。



合宿研修所の竣工

予てより当学院において建設中の「啓明学院合宿研修所」がこの程完成の運びとなり、5月6日（金）10:30より竣工感謝礼拝式が執り行われました。

2006年の構想から5年の歳月をかけて、この5月（金）10:30より竣工感謝礼拝式が執り行われました。

予てより当学院において建設中の「啓明学院合宿研修所」がこの程完成の運びとなり、5月6日（金）10:30より竣工感謝礼拝式が執り行われました。



外部通路

創立記念礼拝

昨年10年15日、本学院創立87周年（10月18日）に先立ち、創立記念礼拝が行われました。礼拝の中で、本学院理事である、渡邊カナコ同窓会名誉会長から『幸せになるお話』と題して、次のような内容の奨励がありました。

「啓明の School Motto "trained to serve" を表すフランス語 noblesse oblige（高貴なる人の、又は恵まれた者の義務、及び慈善を行うこと）に関して、又、フランスの哲学者アランの幾つかの言葉を引用し乍ら、創立者J・Wランバス先生のメッセージ「祈り 愛と奉仕」とは幸せの種を蒔くこと、幸せは美德である、神様のみに添う永遠の幸せの道は——等々」

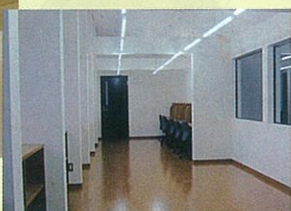
とても良いお話で、全校生徒と、ランバスファミリー関係校、関係機関よりの来賓の方々と共に熱心に耳を傾け、記念すべき礼拝を守りました。



啓明学院創立87周年記念礼拝 式場 本学院体育館
「愛と奉仕・幸せになるお話」と題して
渡邊カナコ 同窓会名誉会長の奨励がありました。



合宿室



食堂棟2階



食堂棟東面

2011年度年間テーマ
God be our vision

2011年度年間テーマ聖句

わたしはこの手で、
わたし自身の生活のためにも、
共にいた人々のためにも働いたのです。
あなたがたもこのように働いて
弱い者を助けるように、
また、主イエス御自身が
「受けるよりは与える方が幸いである」
と言われた言葉を思い出すように。

使徒言行録20章：34～35節

和道教室の竣工

本学院の在籍生徒数のうち約1割は海外に在留経験のある帰国生です。また、韓国・中国・東南アジア諸国・アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリアをはじめとする多くの国々の生徒が1年程度の長期または短期留学生として、本学院で学びます。また、年間10名前後の生徒が海外留学します。これは、少なくない数字です。

このように国際校は名乗りませんが、異文化との交流を重視する本学院で日本の和の文化を学び伝えられる場の一つとして、この4月に、妙法寺キャンパス北西角に8畳の茶室2



部屋と、待合、水屋などをもつ和道教室が完成しました。茶道・華道・箏曲・能など日本の伝統文化の継承・伝播の場、国際・地域・世代間の交流の場として活用されるよう願っています。同窓会・育友会の方々のご利用も大歓迎です。

和風庭園、石畳の路地・歩径路、門なども併せて建設中です。完成は6月中下旬を予定しています。

総工費：58百万円
【施設概要】建築面積 83.74㎡ (25.4坪)
鉄骨造り和風建築、平屋建て



合宿研修所全景



合宿棟南面



食堂棟南面

合宿研修所は1泊〜数泊程度の短期の合宿（ロングホームルーム・合宿勉強会・クラブ・生徒会の合宿など様々な利用方法を検討しています）や地域・異世代間交流に利用していく予定です。同窓会・育友会の方々も大いに利用してくださることを願っています。

概要
所在地：神戸市須磨区多井畑字東前田5
総敷地面積：3900㎡（一一八二坪）
合宿棟（平屋）：233㎡（七〇坪）二〇畳×4室
食堂棟（二階建）：243㎡（七四坪）食堂七十二席、自習コーナーなど
浴室棟（平屋）：62㎡（一九坪）、教職員宿舍棟（二階建）104㎡（三二坪）



食堂1階

2011年啓明学院教育振興事業募金協力をお願い

昨年3月完成した啓明今井会館に引き続き、11月にはパイオルガンが設置されました。また今年度中には自然科学棟や合宿研修所、茶室を備えた和道教室が新たに完成の予定です。充実した教育環境の中であらゆる可能性を秘めた後輩たちが生まれ、鍛えられることを願っています。先輩である私たち同窓生が母校に対する思いを篤くし、微力ながら協力できればと皆様のご理解をお願いする次第です。

私達を取り巻く経済状況はまだまだ好転の兆しを見せていませんが、子供たちが笑顔で学生生活を送り、さらに優しく、そして力強い人間になって卒業していけるように、なにとぞよろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

在 主 平 安
2011年4月
学 校 法 人 啓 明 学 院
理 事 長 ・ 院 長 尾 崎 八 郎
校 長 藤 本 義 和
同 窓 会 会 長 佐 藤 陽 子

◎振込先

- （金額に関係なくご寄付いただけます。）
- 寄付金に対しては所得控除（所得税減免措置）が受けられますので、確定申告の時に必要な「寄付金額収書」を発行させていただきます。
- 郵便局備え付けの振込用紙をお使いください。
口座番号 00990-9-0004869 加入者名 学校法人啓明学院
金 額 手数料を引いた額
通 信 欄 『2011年度啓明学院教育振興募金』『第〇回生または〇年3月卒』
【氏名（旧姓名）】【〒】【住所】【電話番号】

（※ 通信欄には上記項目を必ずご明記ください）

- ◎銀行振り込みを希望の方は、啓明学院事務所に TEL 下さい。
- ◎学院事務局にてご寄付を直接受け付けます。

金星会は『啓明学院創立80周年記念募金』以降の『啓明学院教育振興募金事業協力をお願い』を会報13号（2008年10月発行）、会報14号（2010年8月発行）に記載させていただきました。その呼びかけに応じて2008年度、2009年度、2010年度にご寄付いただいた方々のご芳名を下記の通り報告させていただきます。

心からの感謝を以って報告させていただきます。

2008年度		2009年度	
岩井美也子	5 回生	渡邊カナコ	5 回生
岩井 静子	5 回生	佐藤 陽子	6 回生
尹 小夜子	5 回生	村上 茂子	6 回生
谷本 治美	5 回生	澤田佐紀子	13回生
松山 まさ	5 回生	高畑 恵子	13回生
宮前由紀子	5 回生	梅岡寿美子	19回生
渡 かの	5 回生	前田真之助	4 回生 (啓明学院)
渡邊カナコ	5 回生	2010年度	
佐藤 陽子	6 回生	渡邊カナコ	5 回生
高瀬 佳子	7 回生	佐藤 陽子	6 回生
梅岡寿美子	19回生	坂野 正子	12回生
権藤 道子	20回生	梅岡寿美子	19回生
		加藤 勝美	23回生
		松本まゆみ	57回生
		村田 冨	3 回生 (啓明学院)
			(敬称略)
		総計	3,035,000円

なお、金星会から「教育振興募金」として2008年度～2010年度の3年間に合わせて700万円、2011年度には200万円を寄付させていただきました。

啓明学院は東日本大震災による被災地の私立中学・高校の被害を覚え、義援金を兵庫私立学校中高連を通して送りました。

金星会もこれに賛同し、100万円をこの義援金に加えていただきましたことをご報告いたします。

おなつかしい先生方のお便り

退職された先生

元校長 柵津茂 實

時のたつのが早く、世の中もどんどん大きく変化しています。私も退職後、古稀、結婚50年（金婚）、そして喜寿が過ぎ、間もなく平均寿命に近づきます。時は一寸も待ってくれません。

最近話題の「トイレの神様」がマスクミで取り上げられています。卒業生から旧三宮南校舎でトイレ清掃に取りくんだことを言われると、啓明で共に過ごした数々のことが蘇えます。そんな時、いろんなことが共有でき、時が止ってくれてホッとします。

今では、「晴耕雨読」聞こえはよいが、ささやかな趣味の家庭菜園、園芸、老人会のスポーツクラブに参加。できなかった読書、健康に気をつけ通院、生かされていることに感謝。

啓明を離れて久しくなりますが、現在の啓明も随分大きく変わり、発展し、在校生や多くの卒業生が多方面で大活躍している様をみて嬉しく誇りに思えるきょうこのごろです。

保健体育科 角木(坪井)しのぶ

金星会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生し、未曾有の大地震や津波でお亡くなりになられた方々のご冥福と、被災されました多くの皆様に心

よりお見舞い申し上げます。また少しでも復興の道が進みます事をひたすらお祈り致しますと共に、微力ながらもご協力できる事は最大限にさせて頂きたいと思っております。ところで、私は

1982年から2007年までの25年間、啓明で勤めさせて頂きました。50歳を機に退職を致しましたが、私の人生において皆様と一緒させて頂きました事、この上なく幸せに存じております。ありがとうございます。また体操部の皆様もお元氣ですか。私はお陰様で元氣に忙しくしております。幸いにもNHK学園啓明学院協力校に保体講師として、月に1〜2回は懐かしい啓明校舎で思い出多き体育館等で授業をさせて頂いております。他分野では、民謡、三味線、歌、体操などの指導者として、赤ちゃんから80歳代の方まで多くの方々と一緒に楽しくふれあっています。健康で生きがいを持って毎日を通す事の重要性を、健康生きがいづくりアドバイザー”としてお伝えしながら頑張っています。また何かお役に立つ事がございましたら協力させて頂きたいと思っております。これからは社会に貢献できるように努力してまいりたいと思っております。最後にになりましたが、昨年8月28日に行いましたホテルオークラ神戸にてのCDレコーディング記念会では、啓明学院理事長、尾崎八郎先生をはじめ、お懐かしい先生方、現職の先生方、そして金星会の多くの皆様にご出席頂いたり、心のもった御祝やご支援を頂いたり、盛会

に終らせて頂きました事、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。この場を借りまして深く御礼申し上げます。今後の金星会のご健勝と益々のご発展をお祈り申し上げます。また皆様にお会いできます日を楽しみにしております。

現職の先生

副校長 安福 朗

2002年4月、啓明学院中学校・啓明女学院高等学校の教頭として新しい働き場を与えられてから、早いもので10年目を迎えることになりました。男女共学の啓明学院中学校の第1期生と共に「入学」し、当時の啓明女学院高校の女子生徒に「読書」という初めての教科を教えることから始まったあの最初の1年は、35年の教師生活の中でも生涯忘れることのできない1年となっています。その共学中学校の第1期生もこの春から大学4年生となっていることを思えば、あらためてこの10年の重さを感じざるを得ません。

同窓生が2万人に及ぼうとする長い歴史と伝統を持つ啓明にあつて、私が教え、そして共に学び合った卒業生の皆さんは2千名余りに過ぎませんが、それぞれが家庭や社会でかけがえのない役割を果たされ、また学生として豊かな学びの日々を送られていることを何より嬉しく思っております。

私事で恐縮ですが、私には25年間勤めた前任校で「教師のイロハ」をたたき込まれた大先輩の先生がいます。前任校を辞して啓明に移ることが決まった時、その先生から「啓明は私の母校よ。私は13

回生なの。頑張つて。」と言われました。「大先輩に少しは恩返しできたかな」と問いながら、これからも頑張つていきたいと思ひます。

国語科 郭 賢鶴

卒業生の皆さん、お元氣ですか。

私は、この啓明に奉職して丁度30年になりました。人生の半分をここで過ごしたことになります。ですが振り返って見ますと、『光陰矢の如し』という言葉を実感させられます。卒業生の皆様と過ごした日々が、つい昨日のことのように思い起こされます。卒業生が生徒の保護者として学校に来ることも見られるようになりました。ずいぶん前の卒業生が学校に遊びに来ることもあります。そんな時、「先生、変わつてへんねー」と、よく言われます。頭はかなり白くなりましたが、あまり変わつていません。相変わらず「タバコ臭い！」と、生徒たちに言われています。

今年度は高校1年生の学年付きという立場で生徒たちと向き合います。新入生と過ごす日々を楽しみたいと思つています。今年には金星会の総会があるとか。再会できることを楽しみにしています。

お元氣で。

数学科 中原圭恵

卒業生の皆様、お元氣でいらっしゃいますか。去る3月11日には、未曾有の大震災が東北を襲い、東日本の方々だけでなく、日本中が悲しみの渦の中に突き落とされています。一日も早い復興を祈らずにはいられません。啓明でも生徒会が中心になって長期的な援助をしていこう

と動いています。私も啓明の一員として
できることから始めています。

さて、私が啓明の教壇に立たせていた
だいて早や30数年が経とうとしています。
多くの生徒達に出会い、共に泣き、共に
喜んだことが走馬燈のように思い出され
ます。神様のお恵みと皆様のお支えに心
から感謝しております。また、多くの卒
業生が啓明を訪ねてくださっています。長
い年月が過ぎたことも忘れて懐かし
話をさせていただいています。

今年度は中学1年から高校3年まで全
てのクラスが男女共学となりました。大
きく変革した啓明ですが、啓明女学院か
ら啓明学院へと「愛と奉仕の精神」は
脈々と受け継がれています。キャンパス
の中には生徒たちの元気な声で溢れていま
す。ぜひ、遊びにいらしてください。
最後になりましたが、皆様のご健康と
ご活躍を心からお祈りし、いつかお会い
できる日を楽しみにしております。

数学科 吉田篤生

卒業生の皆さん、お元気でいらつしや
いますか。私も啓明にお世話になって、
はや30年が過ぎようとしています。
今年の3月11日、阪神淡路大震災の数
百倍の大きさとなる未曾有の大地震、東
日本大震災がありました。皆様の中にも
大きな被害を受けている方がいるのでは
ないでしょうか。改めて天災の恐ろしさ
を実感するとともに皆様のご無事を心よ
りお祈り致します。

さて、私は啓明学院共学クラス4期生
の生徒を中学1年生より6年間、また伝
統ある啓明女学院から続いた最後の女子
クラスを3年間通して持ち上がり、今年

の3月に無事卒業させることができた
ころです。

約30年前、旧校舎の三宮の北校舎で初
めて教鞭をとり、松井先生にしがれな
がら女学院の生徒たちと過ごした日々が
懐かしく思われます。また今の妙法寺の
校舎に移転してからも、ずっと担任とし
て、またクラブ顧問として女子生徒たち
に関わることができたことが今の自分に
繋がっていることと感じ、本当に感謝し
ています。

最後になりますが、皆さんの健康とま
すますのご発展を心よりお祈り致します。

保健体育科 石川順子

金星会の皆様、お元気で過ごして
しょうか。3月の東日本大震災で被災さ
れた皆様には、心よりお見舞い申し上げま
す。

早いもので、啓明でお世話になって、
今年で30年目を迎えました。現在は男子
生徒が入り、生徒との年齢差がどんど
ん広がっていく中ではありますが、毎日生
徒と共に元気に過ごしています。また、
ソフトテニス部の顧問としても30年目を
迎え、25年前に立ち上げたOB会では、
毎年6月に総会を開き、懐かしい卒業生
と楽しいひと時を過ごしています。

啓明女学院から啓明学院に変わり、学
校の色々な設備等も変わりましたが、建
学の精神は今も引き継がれ、他者に仕え
るために自分自身を鍛え、卒業して行き
ます。

どうぞ、一度素晴らしいパイプオルガ
ンをはじめ、変わった啓明を訪れて、懐
かしい顔を見せていただきたいと思います。
どうかこれからも啓明学院を忘れず

に、元氣にお過ごし下さい。

聖書科 指宿 力

金星会の皆さん、お元気でいらつしや
いますか。まだまだ若者の気持ちでいる
のですが、啓明に勤めさせていただき、
もう21年が経とうとしています。その間、
皆さんと一緒に学びを重ねた日々こそが
自分の人生であり、宝であることを思っ
ています。

ご存知の方もいらつしやると思います
ですが、皆さんと共に祈り、聖書に聴き、
賛美をしたチャペルは2006年に前方
部を延長し、メソジストアーチを持つ広
い講壇となりました。2010年に新築
された今井会館の2階に、初代院長の名
前をとったC・G・ハンドチャペルを
設けたことに合わせ、これまでのチャペ
ルは学院創設者の名をとってJ・W・ラ
ンバスチャペルとし、秋には21ストッ
プのパイプオルガンも設置されました。そ
の他に図書室は学院の旧名からパルモア
ライブラリー、小ホールはランバス夫人
からメアリーホールとそれぞれ命名して
います。

新しい歴史を重ねる中、これまでの歩
みを大切にするのもまた、啓明におい
て大切なことです。卒業生や旧職員お一
人お一人の学院での日々もまた、学院の
歴史であり、誇りであります。折に触れ、
それらに光をあて、感謝の思いを持ち続
ける学校でありたいと願います。そして
これからは金星会の皆さんがいつでも
帰ってくる場所としての開かれた学校で
あり続けたいと思います。またお会いで
きる日を楽しみにしています。

国語科 沖花玲子

東日本大震災で被災された皆様、心よ
りお見舞い申し上げます。復興に向けて
頑張っておられることとお察しいたしま
す。

卒業生の皆様はお元気で活躍のこと
と存じます。私は講師として3年半、専
任として24年間、啓明にお世話になっ
ています。また卒業生として金星会のお手
伝いもさせてもらっています。生徒たち
にお姉さんといわれる時代から、お母さ
んの世代に、今ではおばあちゃんと呼ば
れる年齢になりました。お母さんの卒業
アルバムに写っていた私を見た生徒が
「先生、昔はやせとったんやなあ」と。
そして彼は「今は……」と口をつぐみま
した。月日のたつのは早いものです。そ
して啓明の卒業生の皆様とのご縁の深さ
や絆の強さを感じる昨今です。

明日からも「先輩たちは頑張った
よ！」と声を限りに叫びながら、可愛い
生徒たちを追い回していきたくと思っ
ています。卒業生の皆様のご健康とお幸
せを祈りながら。

【住所変更通知】 お願い

住所変更の方はいつでも迅速に、啓明学院内「金星会」宛に、ハガキか
TEL 078-741-1506
FAX 078-741-1512 または
E-mail (kinseikai@keimeid.jp) にお知らせ下さい。
〔〇回生又は〇年3月卒 氏名(旧姓) 〒住所・電話番号〕

個人情報の取り扱いと保護について

- ご提供いただいた情報は機密扱いとし、同窓会会員の管理、同窓会報・総会案内などの金星会からの発送物及び同窓会名簿の発行を含む同窓会の運営に役立つ目的のみに使用します。
- 金星会では、会員以外の第三者に個人情報の提供を行いません。

二十才の会

20歳の集い

啓明学院4回生 太田晃太郎

2011年1月10日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて、啓明学院高等学校第4回生20歳の集いが行われました。私達のほとんどが継続校推薦で関西学院に進学したので、毎日のように学内で会っていますが、みんながいつせいに揃うことは卒業以来初めてでした。当日は関西学院以外の大学に進学した友人も参加してくれ、懐かしい顔ぶれとなりました。あどけなかつた高校時代とは違い、振袖を着た女性は美しく、スーツを着た男性はたくましく見えました。

2時間というわずかな時間でしたが、中高を共に過ごした友人とまたこうして会え、高校時代を思い出せたこの会は、私にとって素晴らしいものとなりました。またいつかこのような会が開かれることを楽しみに、今後も歩んで生きたいと感じております。最後になりましたがこの会に御参加頂いた先生方、金星会の渡邊カナコ様、佐藤陽子様お二方、誠にありがとうございました。次回には御招待できるよう4回生一同努力しますので、期待してください。



20歳の集い 2011. 1. 10 神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて

クラス会だより

啓明女学院3回生クラス会

3回生 高田文子(旧姓 西村)

また逢う日まで また逢う日まで と在校生の讃美歌の歌声に送られ、涙々でチャペルを後にして早60年、色々な人生経験を致しました。私達女学院3回生は、40年程前からクラスメートの消息を集め、毎年クラス会を行って居ります。10年程前からは1泊クラス会を行って居ります。昨年9月24日(金)・25日(土)に神戸フルーツフラワーパークのホテルでクラス会をしました。写真はホテルの前でパチリです。毎年17名程の参加ですが、学生時代同様に喋り明かします。啓明での出逢いがあればこそ、この年齢になっても交流のある事、本当に啓明万々歳です。母校の益々の御発展お祈り致します。



3回生クラス会 2010. 9. 25
神戸フルーツフラワーパークホテル

啓明女学院5回生クラス会

5回生 木下 トミ

年に一度の5回生のクラス会が昨年6月22日三の宮「うおまん」で行われ、京都や姫路から16名集まり卒業以来58年、喜寿を迎え生かされた事を感謝しました。みんな学生時代と同じで明るく爽やかにそれぞれの人生を生き生きと語り合い、充実した楽しい時が一瞬に過ぎ至福の時を過ごしました。思えば125年前JWランバス牧師がアメリカより来神され神戸栄光教会を設立、88年前啓明の前身パールモア女子英学院が開校され、キリスト教精神に基づいた教育を受け「心も体も奉仕するためにある」事を心に留め年を重ねている事をクラスメイトから強く感じられ、多くの先生、宣教師先輩の良き御指導を感謝しています。今年も心身共に守られクラス会、総会にのぞめますよう祈りつつ……



5回生クラス会 (16名出席) 2010. 6. 22
於 三宮ミント「うおまん」

● 啓明女学院7回生クラス会 ●

7回生 松本 康代

金星会の皆様お元気でお過ごしですか。2010年6月11日に私達は14回目のクラス会「七つ星会」を神戸風月堂にて開催致しました。毎回恩師の島先生をお招きし、童心に返り、個々に話が弾み約3時間ではありましたが楽しいひとときを過ごしました。しかし当日欠席されている友達の返信には家庭の事情や当人の体調が悪くやむなく欠席せざるをえなかったという人が多く今後のクラス会の運営が問題になり色々意見を交わし合った結果、残念ではありますが3年後の15回目のクラス会を一応最後とする事に決まりました。時はあつと言う間に過ぎ、終わりに啓明学院にちなんだ品を抽選で頂き、この瞬間昭和30年頃の姿に戻り、大はしゃぎ、次回も健康にて又逢いましょうと帰路につきました。



7回生クラス会 2010. 6. 11
島先生を囲んで 神戸風月堂にて

● 啓明女学院14回生クラス会 ●

14回生 田中 和子

2010年5月23日(日)〜24日(月)の2日間、北野の六甲荘で、祢津先生、山本先生のお二人にご出席いただき、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

ワイワイ・ガヤガヤ…みんなすっかり学生時代に戻って夜おそくまで話に花が咲きました。先生方もお元気でうれしかったです。身体に気をつけて、又次回も元気で会いましょうと約束して閉会しました。



14回生クラス会 2010. 5. 23
六甲荘にて

● 啓明女学院32回生クラス会 ●

32回生 中岸 圭子

10月23日(土)

貿易センタービル ステラコートにて卒業以来、30年ぶりに、貿易センタービル・ステラコートにて、12人が集いました。

在学中にお世話になった中野先生を囲んで、懐かしく語り合いました。

参加者の中には、わざわざサンフランシスコから駆けつけてくれ、次回はもっとたくさん同期生が集うことを願ひ閉会致しました。



32回生クラス会 2010. 10. 23
貿易センタービル ステラコートにて

● 啓明学院3回生クラス会 ●

3回生 吉田 真也

昨年9月上旬に初めて今井会館で同窓会を行いました。そこには成人式以来会と同級生また諸先生方がおられました。大学ではいつも仲がいいきました同級生と集まっているので、それ以外の同級生を目にする機会がありませんでした。だから、久しぶりの同窓会はいい機会であったのではないかと思います。

また、学生1人1人が現状や今後の抱負を述べ、各自目標に向かい頑張っているの自分自身も気が引き締まったかと思えます。

これまで尾崎院長や諸先生から「今は輝かなくとも、社会に出て将来輝けほしい。」と教わった事を思い出し、これから社会に出ていく自分自身をもう一度深く考え直します。啓明や関西学院で学んだ精神を軸に啓明学院一期生として恥ず

かしくないように精一杯過ごしていきたいと思えます。



学院3回生クラス会 2010. 9. 7

同窓生だより

10回生 ゴールドマン直子(旧姓 谷口)

啓明同窓会誌「金星」14号をお送り戴き有難うございました。早速に1ページ、1ページ、端から端まで読ませていただきました。啓明女学院から啓明学院への変遷を、そして現在啓明学院がどんなに飛躍しているかを知る事ができ、非常に嬉しく思いました。「金星」を読んで思ったのですが、アメリカに啓明の同窓生はどの位いらっしゃるのだろうか？もしこちらにいる同窓生がEメール、フェイスブックなどを通して連絡を取ったりしては…そしてこちらで啓明同窓会を持つ…等と考えました。長い会社勤務の後渡米、またこちらでも20年余勤務、そして2年前に退職し、今は残り少ない人生を楽しく生きて行く工夫をしています。Eメールを駆使して疎遠になっています友人との会話を再開、また初めて英語を教

ジニア州在)とは時に触れEメールを通してお話をしています。新しい啓明学院の繁栄をお祈り致しております。

19回生 中村文恵(旧姓 久後)

啓明女学院を卒業して44年が経ちました。卒業後に看護の世界に憧れ、看護専門学校に進学し、看護師と保健師の資格を取り、神戸市立中央市民病院(現在の神戸市立医療センター中央市民病院)に勤務することになりました。臨床経験を重ねるうちに看護の奥深さに魅力を感じ38年間を過ごすことになりました。振り返ってみると、その大部分は急性期医療の看護でした。特に、印象に残っているのは阪神淡路大震災時の救急部で管理部門の一人として看護業務に従事した事です。さて、市民病院の看護師の世界では管理者になると市民病院群内の病院に異動し、各々の病院の看護管理者として勤務することが多くなります。私は中央市民病院で30年、その後は西神戸医療センターに6年、そして先端医療センターに2年と、各々医療の異なる病院に勤務し、現在は、先端医療センターで専門役として勤務をしています。そこで少し、先端医療センターのご紹介をさせていただきます。

ポートアイランドにある当センターは中央市民病院と連携して高度標準治療をはじめ、再生医療・映像医療などの先端医療の提供と併せて、医薬品分野にも先端医療の成果を提供しています。

さて、これから注目される先端医療の一つに再生医療があり、当センターでは下肢血管再生療法や整形外科領域の骨再生療法等を実施しています。さらに将来的には、眼科・耳鼻科領域の再生医療も視野に入れ臨床の場での取組みを始めています。

私の役割は、臨床試験を実際の医療の現場で円滑に効果的に実践される体制づく

くりです。先端医療は一般医療とは異なり、患者さんに最も身近な存在である看護師がプロトコルを熟知し、安全に安心して医療・看護を提供する責任があります。健康な生活は何よりも大切で、何物にも代えがたいものです。

患者さんの健康回復を願っています。

26回生 マウレル淑江(旧姓 里内)

1968年、啓明女学院中学校に入學し、私の英語との関わりが始まりました。1989年に、念願のカナダはバンクーバーに渡り、Columbia College of ESLで2semestersを終えました。そして、今度は実社会で英語を使いたいと、仕事を探し始めましたが、英語が母国語の国で英語を、それも日常生活に困らない程度に話せると言うだけでは就職活動の武器にはならない事に気づかされ、ちよつとたじろぎました。模索した結果Vancouver Community CollegeでAdministrative Assistant養成のコースを取り、経理関係から人事全般に至る10科目を勉強している間に、幸運にも一人のインストラクターの方に今の会社を紹介され採用していただき、今に至っています。

いつか、時間にゆとりができれば、英語での朗読の勉強をして、ボランティア活動につながればと、55歳になった今も夢は広がっています。

36回生 佐藤まゆみ(旧姓・芸名 能崎)

新校舎での初の卒業式から28年。こんなにも波瀾万丈な人生が待っているとは、あの頃は想像もしませんでした。大学卒業後はフリーアナウンサーとしてTVやラジオ番組等に数多く出演し、厳しい業界での様々な経験や多くの出会いは、私の大きな財産となりました。40歳を迎えた時「丁度人生の折り返し地点。また新たに挑戦してみたい!」と、ウエディン

グプロデューサーに転職。新郎新婦の夢を叶える完全オリジナルウエディングを一から作り上げるといふ、やり甲斐ある仕事を経験しました。更に、42歳で電撃結婚・出産。華やかな世界とは全く違うが、心から安らげる世界。ようやく本当に大切なものに出逢えた気がします。3歳の息子と毎日格闘しながら、フリーアナウンサーの仕事再開し、喋ることが今最高に楽しい。そして、育児ってこんなにも楽しい!とブログで発信しています。「なつづ diary 能崎まゆみ」一度、是非覗いてみて下さいね。これからも挑戦を続けます。

啓明学院4回生 笠田 祐樹

私の様な若輩者がこの様な場をお借りするのはとても恐縮ですが、私の近況を少し書かせて頂きます。私の家は代々能楽をやっております。私も2歳で初舞台を踏み、今まで多数の舞台を務めてきました。中高6年間で、世間一般で言う「反抗期」がやってきたため何度か将来能楽師になるか迷いましたが、今では能楽師になるという固い決意を持ち、大阪能楽養成会という若手養成所に所属し、舞や謡、囃子などをお稽古しています。そこは多くの若手能楽師が所属しているため、楽しく、また競いあいながら、色々な事を学んでいます。今の日本は古典芸能にふれる事がほとんどないのが現状です。そのため、これから能楽の世界は厳しくなると思います。しかし、一度固い決意を持ったからには諦める事なく、少しでも多くの人に能を楽しんで頂くため「高い志」を持ち、全ての事に感謝してこれからも努力していきます。年に2回程主役を舞わせて頂きますので、是非お越し下さい。



23年2月26日、上田能楽堂にて演目「鶴」で主役を務める

啓明学院5回生 渋谷 健太

金星会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は2010年3月に啓明学院を卒業し、まだ1年が経過したところです。このような新米者に同窓生だよりの一部を担当させていただけることに感謝いたします。

啓明では、生徒会誌『文華』の編集を第43号から45号にかけて担当いたしました。高校時代の3年間、それまで先生方に作っていただいていた文集を、生徒の手による卒業記念誌へ変えるために奔走したつもりでしたが、さぞかし学校にとってはややこしい存在であったことでしょう。その後、後輩らが制作した46号を読んで、その流れが少しでも引き継がれていたことに安堵いたしました。

現在の近況といたしましては、関西学院大学の国際学部に進学し、学生生活を日々楽しく過ごしております。この夏からは、大学より交換留学生としてアメリカ・ミズーリ州へ派遣されることになりました。言語能力においても、学問知識においても、いささか不安がありますが、1年間頑張つて成果を上げるべく努力したいと考えております。

同級生だった皆様、お元気ですか?またお会いできることを楽しみにしています。

母校ニュース

植樹祭に参加して

1月31日、日本財団笹川陽平会長の助成による植樹祭が学校の敷地北西にある斜面で高校3年生の卒業記念も兼ねて行われました。同窓会も4人参加しました。それに先立って国際生態学センター長・宮脇 昭さんの『ふるさとの木によるふるさとの森づくり』と題しての講演があり、シラカシ、ヤマモモなど30種約1000本の苗木の特徴と作業の手順を説明されました。『大きく成長する力を持った小さな木を主木としてマジエて（交ぜて）植える』ことを力説され約300平方メートルの斜面に1本ずつ丁寧に植樹していきました。



生徒会より

東日本大震災募金へのご協力をお願い

啓明学院高等学校・中学校生徒会は「東日本大震災」災害支援のために2011年3月14日より「啓明学院東日本支援ボランティア」を組織し、活動を始めております。3月20日に第1回の街頭募金を地下鉄妙法寺駅・名谷駅で行い集まった募金53万円は「神戸市社会福祉協議会災害救援募金」に寄付しました。

今後の予定として毎月11日を「支援募金の日」とし、生徒会役員を中心に活動を行います。この計画募金を1年間を通したプロジェクトとして行っていきますので、ご支援よろしくお願ひします。

振込先

みなと銀行 横尾支店

普通預金口座：1847866

口座名義：啓明学院生徒会募金口

尾崎八郎

☆氏名(旧姓名)、回生、住所の記入をお願いします。

2010年度 高校卒業生の進路状況

(卒業生：199名)

● 共学部(卒業生：160名)

(1) 関西学院大学へ継続校推薦入試で進学した者：147名

* 各学部への進学者数は左表の通り

神学部	0名	法学部	18名	総合政策学部	17名
文学部	8名	経済学部	24名	理工学部	7名
社会学部	24名	商学部	25名	人間福祉学部	8名
教育学部	6名	国際学部	10名		

(2) 継続校推薦を辞退し大学・短大等へ進学する者：9名

* 主な進学先

◇ 神戸大学 ◇ 富山大学 ◇ 上智大学
◇ 立教大学 ◇ 国際基督教大学 ◇ 青山学院大学 ◇ 関西学院大学 ◇ 神戸薬科大学

● 女子部(卒業生：39名)

(1) 進路先の内訳

大学	37名
短大	2名
専門学校	0名
就職	0名

(2) 2名以上が進学した大学・短期大学

関西学院大学	17名
神戸女学院大学	4名
神戸松蔭女子学院大学	2名
神戸学院大学	2名
神戸親和女子大学	2名
甲南女子大学	2名

(3) その他の進学した主な大学・短期大学

◇ 大阪学院大学 ◇ 同志社女子大学
◇ 近畿大学 ◇ 大阪音楽大学 ◇ 武庫川女子大学 ◇ 神戸芸術工科大学

母学年間行事2011

4月1日	中学入学式
4月2日	高校入学式
4月4日～6日	中1前島オリエンテーション シヨンキャン
4月6日～8日	高1前島オリエンテーション シヨンキャン
4月11日	中学・高校始業式
5月14日	体育祭
7月19日	終業式
7月22日～28日	青島海洋冒険キャンプ
8月15日～27日	青島キャンプ
9月5日	始業式
9月27日～10月1日	中3修学旅行
9月28日～10月3日	高2修学旅行
10月8日	第1回中学説明会
10月14日	創立記念礼拝
10月15日	第2回中学説明会
10月18日	創立記念日
11月5日	第3回中学説明会
11月12日	文化祭・ホームカミングデー
11月26日	第1回高校説明会
12月10日	第2回高校説明会
12月20日	クリスマス礼拝
12月21日	終業式
1月10日	始業式
1月14日	中学入試
2月9日	啓明マラソン
2月18日	高校卒業式
3月14日	中学卒業式
3月19日	終業式

退職された先生

長い間ありがとうございました。

2010年度退職

理科 石上(大東) 裕子先生

★ 2011年度「金星会総会」ご案内 ★

総会と懇親会を開催致します。懐かしい恩師を囲み、新旧同窓生と共に楽しいひとときを過ごそうではありませんか。
皆様お誘い合わせの上、多数ご参加下さい。

日時：2011年9月17日(土) 午後3:00～6:00 (受付開始 午後2:00～)
場所：ポートピアホテル本館地下1階「偕楽の間」(神戸ポートアイランド)
ポートライナーで市民広場下車。新神戸駅・三宮駅とホテルを結ぶシャトルバスを運行。詳細は別紙添付しています。
TEL 078-302-1123

会費：6,000円(飲物、税サービス料金含む8,000円相当料理)
新会員 啓明学院4・5・6回生(2009年、2010年、2011年3月卒)は2,000円

プログラム：会食懇親会 報告 アトラクション

申し込み方法：同封の申し込みハガキに必要事項を書き入れ切手を貼り投函下さい。

申し込み締切：8月30日(火)

同窓会プランで宿泊料金 平日¥9,000 休前日¥11,000
(お一人さま 1泊朝食付 税サービス料込) も利用出来ます。

出席取り消しは9月10日(土)までに
電話又はFAXで下記にご連絡下さい。

布澤 TEL 078-851-5934
FAX 078-851-5966

無断欠席の場合、後日、会費をいただきます。

●シャトルバス時刻表●
新神戸発
(毎時 10分、30分、50分)
JR三ノ宮発
(毎時 0分、20分、40分)
*お子様ご同伴の場合、
布澤にご連絡下さい。



2011年度 金星会役員紹介

名誉会長 渡邊カナコ(旧姓 渡邊) 5回生
相談役 高瀬 佳子(旧姓 橋本) 7回生
会長 佐藤 陽子(旧姓 本谷) 6回生
副会長 梅岡寿美子(旧姓 和田) 19回生
書記 永井 洋子(旧姓 前田) 28回生
書記 中岸 圭子(旧姓 正垣) 32回生
会計 才田 章子(旧姓 箱根) 17回生
会計 布澤 成子(旧姓 安田) 29回生
会計監査 河井 祥子(旧姓 新井) 9回生
会計監査 山口 恵子(旧姓 二星) 20回生
同窓会係 沖花 玲子(教職員) 26回生
同窓会係 田中 優子(教職員) 28回生

Homecoming Day のご案内

お誘い合わせの上、どうぞご参加下さい!! お待ちしています!!

日時：2011年11月12日(土) 9:30～14:30

啓明学院文化祭の日

場所：啓明学院

市営地下鉄「妙法寺」(三宮駅より約15分)下車、駅前より

市バス⑨にて「啓明学院」下車、またはタクシーにてワンメーター

行事：①卒業生専用喫茶室(同窓会喫茶室左隣の教室)で、紅茶とケーキを無料サービス

②後輩の文化祭を楽しみ、懐かしい諸先生との再会も!!

★生徒クラブ活動・演技(体育館)・展示・各種模擬店・PTA・バザー等(各教室、校庭)

お知らせ

★毎年、秋の「啓明学院文化祭」の日を同窓生の Homecoming Day と定めております。同窓生多数のご来校をお待ちしています。

★毎年ご案内は差し上げませんが、文化祭の日程が決まり次第、啓明学院のホームページ中『同窓会』(<http://www.keimei.ed.jp>)に掲載致します。

または啓明学院事務所 (tel.078-741-1506) にお問い合わせ下さい。

報告：1982年来、同窓生喫茶室を母校の文化祭で設けておりますが、2003年から Homecoming Day を開催するにあたり、紅茶とケーキを無料でご用意し、皆様をお待ちしております。なお同窓会より生徒会へ毎年5万円寄付しております。



★クラス会を開催された方は、その際の写真とコメントを金星会までお届け下さい。Homecoming Day の同窓生の教室で掲示したり、同窓会報のクラス会だよりに掲載いたします。



題字 中村優文字氏(4回生)

No.15

発行

〒654-0131

神戸市須磨区横尾9丁目5番1号

TEL 078-741-1501(代)

FAX 078-741-1512

URL:<http://www.keimei.ed.jp>

E-mail:kinseikai@keimei.ed.jp

啓明学院内 金星会

■編集後記
会報15号を編集集中に東日本大地震の報が入りました。執筆してくださった先生方、同窓生の方々は同様に被災地を案じる一文で始めました。速やかな復旧をお祈りしております。